

## 第10回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

- 1 日 時 平成24年10月30日(火) 15:00～16:10
- 2 場 所 赤穂市役所 6階 大会議室
- 3 出席者
  - (1) 委 員 豆田正明(赤穂市長)  
明石元秀(赤穂市副市長)  
田端智孝(赤穂市議会議長)  
瓢 敏雄(赤穂市議会副議長)  
西岡憲康(備前市長)  
武内清志(備前市副市長)  
尾川直行(備前市議会議長)  
川淵正行(備前市議会副議長)  
工藤 崇(上郡町長)  
山本守一(上郡町議会議長)  
大政正明(上郡町議会副議長)
  - (2) 幹 事 赤穂市:高山市長公室長  
備前市:三村総務部長  
上郡町:宮下企画財政課長
  - (3) 事務局及び各市町担当者  
赤穂市:東南企画広報課長、平野企画政策係長、宮本主査  
備前市:森脇企画課長、田原企画課参事  
上郡町:小西企画財政課参事、井上企画政策係長
  - (4) 説明員 ①教育施設部会:満重部会長(赤穂市スポーツ推進課長)  
②給食部会 :田淵部会長(上郡町学校教育課長)  
③観光部会 :永石部会長(赤穂市観光担当課長)  
④農林商工部会:安部部会長(赤穂市地域活性化推進担当参事)  
⑤交通部会 : (森脇部会長)  
⑥通信情報部会:沼田部会長(赤穂市情報政策担当課長)  
⑦職員部会 :藤本部会長(赤穂市人事課長)  
⑧交流定住部会:(東南部会長)  
⑨地域医療分野:矢野赤穂市民病院事務局長  
⑩環境分野 :森本備前市環境課長
- 4 会議の概要
  - (1) 開 会
  - (2) 会長あいさつ
  - (3) 報告事項  
平成23年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告について  
平成23年度東備西播定住自立圏形成推進協議会決算について
  - (4) その他  
東備西播定住自立圏共生ビジョンの平成25年度見直し(案)について
  - (5) 閉 会

## 5 議事の概要

事務局

定刻になりましたので、ただ今から、第10回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。

私は司会進行の赤穂市市長公室長の高山です。よろしくお願いします。

さて、議事に入ります前に、本日の協議会に傍聴の申し出がございます。

会議の傍聴につきましては、本協議会「会議規程」第2条で原則公開となっておりますが、出席委員の過半数の決定により非公開とすることができます。

本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めたいと思います。

また、写真等の撮影希望があれば「会長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴の方にお入りいただきます。しばらくお待ちください。

(傍聴者、報道入室)

どうもお待たせいたしました。

報道の方をお願いいたします。会議中の写真撮影等のご遠慮いただきますので、ご希望があれば、ただ今から会長あいさつまでの間、写真等の撮影を認めたいと思います。

必要な方は、この時間をお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、会長であります赤穂市の豆田市長よりごあいさつを申し上げます。

豆田会長

本日は、お忙しい中、第10回東備西播定住自立圏形成推進協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

3月以来の開催ということであり、この間、赤穂市議会や備前市議会の役員改選などがありました関係で、本日新たに5名の皆さんに、委員として出席いただいております。新委員におかれましては、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、東備西播定住自立圏構想につきましては、皆さんご承知のとおり、圏域全体の魅力の向上と、活力ある地域を作るため、共生ビジョンに基づく様々な事業を展開しているところでございます。

特に、本年3月から運行いたしております圏域バスでは、住民の皆さんの移動手段の確保と利便性が向上し、圏域全体の交流が更に進むことを、強く期待をしているところでございます。

委員の皆様も、各種事業への積極的なご参加をいただくなど、それぞれご尽力をいただいているところでありますが、引き続き、3市町の住民交流が図られますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日は、23年度決算についてご報告いたしますとともに、本年度上半期における事業の進捗状況をご説明した上で、来年度の共生ビジョンの見直し案について、ご協議をいただきたいと存じます。

委員各位の忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局

先ほどの会長あいさつの中でもお話がありましたが、赤穂市議会及び備前市議会で役員改選があり、赤穂市議会からは、新たに田端議長と瓢副議長に、また備前市議会から、尾川議長と川淵副議長に委員としてご出席をいただいております。

また、本年5月、備前市副市長にご就任されました武内副市長に、新たに委員としてご出席をいただいております。

以上、ご紹介をさせていただきます。

新たにご出席いただいております方々から一言ずつ自己紹介をお願いいたします。

まず、赤穂市議会議長、田端智孝様。

次に、赤穂市議会副議長、瓢敏雄様。

次に、備前市議会議長、尾川直行様。

次に、備前市議会副議長、川淵正行様。

次に、備前市副市長、武内清志様。

ありがとうございました。

なお、お手元に委員名簿及び本日出席の説明員名簿を配布しておりますので、ご覧いただければと思います。

それでは会長、議事進行をお願いいたします。

豆田会長

それでは、3の報告事項に入ります。

(1)の「平成23年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告」及び(2)の「平成23年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計歳入歳出決算」につきましては、それぞれ関連がありますので、一括して報告をお願いしたいと思います。事務局、説明をしてください。

事務局

それでは、平成23年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告及び決算について、説明いたします。

議案書1ページをお願いいたします。

平成23年度事業報告についてであります。

まず、カッコ1 東備西播定住自立圏形成推進協議会の開催状況についてであります。

平成23年10月17日に第8回協議会を開催し、22年度決算、及び共生ビジョン24年度見直し(案)について、ご協議をいただきました。

次に、3月23日に第9回協議会を開催し、共生ビジョン第2回変更についての報告と24年度予算について、ご協議いただきました。

次に、カッコ2 事業報告について説明いたします。

事業内容につきまして、別添の平成23年度事業報告書をお願いします。

1ページ、「地域医療の連携」として2事業を行いました。

まず、医療連携研究会事業として、「危機管理研修」「大動脈解離について」のテーマで、研究会を2回行い、事業費は9万8,579円でした。

また、2ページ、医療情報研究会事業は、「プリセプティールとプリセプターの役割・サポートについて」「がん患者に対する看護について」をテーマに研究会を2回行い、事業費は8,580円でした。

それぞれの実施日、参加者数等は、掲記のとおりです。

続きまして、3ページ、生涯学習の推進として「巡回展開催事業」をはじめ、7事業を行いました。

まず、巡回展開催事業ですが、3市町の埋蔵文化財を巡回展示する事業として、23年度は「自慢の遺跡展」をテーマに開催し、事業費は48万2,763円で、

各市町での開催日、入館者数、出展数等はそれぞれ掲記のとおりです。

次に、4ページをお願いします。

指定文化財・文化施設等巡りツアー事業ですが、10月1日、3市町の文化財や文化施設等を巡るツアーを実施し、93人の方が参加され、事業費は49万円でした。

続いて5ページ、チャレンジデー開催事業ですが、3市町対抗により、1日15分間以上運動をした住民の参加率を競う事業を、昨年に引き続き実施しました。事業費は60万円で、参加率等、結果につきましては、掲記のとおりです。

次に6ページ、図書館相互利用推進事業ですが、23年4月より、3市町の公立図書館と関西福祉大学図書館の相互利用を開始し、各図書館における登録状況は掲記のとおりです。事業費はかかっておりません。

次に、文化・スポーツ交流事業ですが、事業費はゼロですが、3市町スポーツ推進委員の情報交換会をはじめ、スポーツ交流事業を実施しました。

続いて7ページ、文化・スポーツ施設相互利用促進事業ですが、3市町の文化・スポーツ施設の使用料金格差をなくし、お互いが利用しやすくするため、条例等の改正を行い、23年4月1日より利用を開始しました。

次に8ページ、赤穂市文化会館整備事業ですが、赤穂市の負担により、掲記の内容で文化会館の整備を行いました。

続いて9ページ、上郡町学校給食施設整備事業ですが、学校給食施設予定地の決定など上郡町におきまして建設に向けて実施しております。

次に10ページ、産業振興としまして、地域ブランド発掘事業はじめ、4事業を行いました。

まず、地域ブランド発掘事業ですが、農商工連携セミナーをはじめ、地域ブランドとして「純米酒 大鳥圭介」の販路拡大事業を行いましたほか、3市町の特産品をかきまつりなどに出展し、PRを図りました。

事業費は119万4,637円でした。

次に12ページ、有害鳥獣対策事業ですが、鳥獣害対策啓発冊子を作成し各市町の広報を通じて全戸配布いたしました。事業費は、236万7,100円でした。

13ページ、企業誘致促進事業は昨年度に続き、インテックス大阪で行われました「第14回 関西機械要素技術展」に3市町合同で出展し、PRを行いました。事業費は181万2,857円です。

14ページ、観光振興推進事業ですが、圏域全体の広域的な観光振興を図るため、3市町を巡る観光ルートなどを紹介した観光情報誌「るるぶ」地域版を8万部作成しました。

事業費は742万1,357円です。

続きまして15ページ、地域公共交通の関係ですが、圏域運行バス調査・検証事業として、事業者や関係者で構成する圏域バス検討会議を経て、2月27日に上郡ルート、3月5日に備前ルートの2ルートにより、圏域バスの運行を開始しました。事業費は、534万3,058円でした。

次に16ページ、JR利便性向上事業ですが、JR山陽本線と赤穂線の利便性向上を図るため、兵庫・岡山両県境協議会の要望と合わせて、JR西日本岡山支社及び神戸支社に対し、要望を行いました。事業費は3万7,013円です。

続いて17ページ、ICTインフラ整備の関係のうち、まず地域情報活性化事業ですが、地域 SNS のシステム構築を行い本格運用を開始いたしました。事業費は、93万6,579円です。

また18ページの圏域ホームページ作成事業ですが、赤穂市のホームページリニューアルに伴い、圏域ホームページの移行を行いました。圏域ホームページは24年度に新たに構築することといたしております。

次に19ページ、地域内外の住民との交流・移住促進の関係ですが、まず民間イベント等助成事業であります。圏域内外の住民交流の促進と賑わいを創出する事業として、掲記の8団体のイベントに対し補助を行いました。事業費は159万6,797円でした。

続いて20ページ、赤穂国際音楽祭開催助成事業は、7月1日から4日まで行われた音楽祭のうち、7月4日のコンサートに定住自立圏枠として備前市、上郡町住民の方を限定に募集を行い、39名の方から申込みをいただくとともに、送迎バスを運行いたしました。事業費は、90万円です。

続いて21ページ、定住相談会開催等事業ですが、3市町合同により定住相談会を東京と神戸の2会場で行いました。事業費は107万2,795円でした。

次に22ページ、圏域内の職員等の交流ですが、3市町の職員研修として、各市町2名、合計6名の職員により、定住自立圏先進地であります福岡県久留米市及び大分県中津市への視察研修を行いました。また、3市町の職員研修として報告会を実施し、事業費は、28万3,760円でした。

また23ページ、職員研修参加交流事業として、備前市の研修に赤穂市と上郡町の職員が参加し、また赤穂市の研修に備前市と上郡町の職員が参加して職員間の交流を図っております。

その下、人事労務担当職員研究会事業、24ページ専門家招へい事業、職員交流・派遣事業については、それぞれ掲記のとおりです。

続きまして、元の議案書に戻っていただき、2ページをお願いします。

23年度 歳入歳出決算についてであります。

上段には、決算額の集計を一覧にしています。

歳入総額は 3,835万6,603円、歳出総額は2,817万199円で、差引残額は1,018万6,404円となりました。

残額の1,018万6,404円につきましては、平成24年度へ繰越させていただきます。

それでは、歳入、歳出別に説明させていただきます。

先に3ページ 歳出をお願いいたします。

まず、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、臨時職員に係ります共済費や賃金など主に事務局運営経費で、352万4,324円を執行しました。なお、車両事故に伴い、22節 補償補てん及び賠償金、車両事故賠償金として88万7,873円を執行したほか、役務費の中、事故証明手数料540円と合わせた88万8,413円が事故に係る支出額であります。なお、その同じ額を、保険金として雑入に歳入しております。

続いて、2款事業費、1項事業費、1目活動事業費は、内容としましては、先程、事業報告でご説明申し上げましたとおりであります。

執行額は、合計で2,464万5,875円でした。

3款予備費の充用はゼロで、結果、歳出総額は2,817万199円であります。

続きまして、歳入をお願いします。

もう一度2ページをお願いします。

まず、分担金及び負担金ですが、備前市さんから3,060万円を収入しております。また前年度繰越金として、685万4,477円を収入し、また諸収入、雑入として、90万2,126円を収入しております。

結果、歳入総額は、3,835万6,603円です。

平成23年度事業報告及び決算についての説明は 以上であります。

豆田会長

事務局からの平成23年度事業報告及び決算報告が終わりましたので、合わせて決算審査報告を、監事であります上郡町山本委員からお願いしたいと思います。

山本監事

監事の山本です。

監事を代表いたしまして、平成23年度の決算審査報告をいたします。

東備西播定住自立圏形成推進協議会規約第9条第2項の規定に基づき、平成23年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計について、会計監査を実施しました。

審査の日時及び場所は、平成24年5月15日午前10時から備前市役所及び午後1時30分から上郡町役場で行いました。

監査の結果、審査に付された平成23年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計にかかる出納その他付属書類について、諸帳簿等は適正かつ正確に処理されていると認めましたので、ご報告いたします。以上、決算審査報告を終わります。

豆田会長

ありがとうございました。

決算に関する説明は終わりました。

決算審査報告も踏まえまして、23年度事業につきまして、何かご質問等ありますか。

大政委員

事業報告書の13ページ、企業誘致促進事業のアンケートについてですが、アンケート回答者1,218人とありますが、このアンケートはどういうことを聞かれたのかという内容と、どういう答えがあったのかをお聞きしたい。

農林商工部会

3市町の産業立地に対するアンケートということで、5つから6つ質問をさせていただきました。

1番に「貴社では現在もしくは今後、営業拠点工場研究所等の増設の予定はありますか?」「計画があります」「将来検討する必要がある」「計画については不明だが関心はある」「特に計画はない」という形です。

2番目に「計画を検討する場合、どういった場所に興味がありますか?」ということで赤穂市、備前市、上郡町をあげています。

また3番目に「立地先の決定にあたり、最も重視する自治体の誘致政策として何がありますか?」に対して「交通等のインフラ」「助成金」あるいは「税などを減免」などの質問事項としています。

また、「場合によっては後日御社を訪問させていただいてもよろしいですか」というような項目もあげたアンケートを実施いたしました。

1,218人、もちろん会社としてお答えいただいていますので、実数はもうすこし少ないですが、1,218件のアンケート調査があがっています。

大政委員

問の方はお答えいただいたのですか、その間に対する回答の方もよろしく願います。

農林商工部会

ただ今検討中、もしくは情報を分析中ですが、1,218件ある中の80件程度は工業用地について「将来検討する必要がある」との回答でした。

関心の方は、赤穂、備前、上郡それぞれに数は出てきています。

全体的に、最優先する自治体の誘致政策はやはり交通インフラが一番高く、「助成金」「税などを減免」と続いています。

最後の、「後日御社を訪問させていただいてもよろしいですか」という問いにつきましては6件程度が訪問してよい、どちらでもよいというのが40件程度ということで積極的に来てくださいというところはあまり数が多くない結果とな

っています。

大政委員 続きまして、21ページの定住相談会事業ですが、関東会場で36組、関西会場で24組とありますが、主な相談内容をお聞かせいただけますか。

交流定住部会 関東会場、関西会場、どちらも3市町との距離がありますが、相談のニュアンスは若干異なります。東京会場の方は3市町それぞれのPRから始めた相談、神戸会場の方は具体的な定住に向けた相談が主な内容となっています。

大政委員 具体的な内容について例を聞かせていただけますでしょうか。

交流定住部会 神戸会場での具体的な内容ですが、空き家情報など住まいの情報、スーパーの場所や学校の状況のような具体的な問い合わせ、相談が主になります。参考ですが、今回の神戸会場で上郡町についてご相談された方が、その後上郡町に定住されたということも聞いておりますので、効果の方はそれなりにあるものと考えております。

田端委員 1点お伺いします。12ページの鳥獣防止総合対策で、事業内容ではヌートリア用捕獲檻を一括購入や、県境での共同捕獲活動とありますが、平成23年度事業内容を見ると冊子を各戸に配布とあり、内容と実施したことが今ひとつ違い、これで境界付近において有効、効果があったと言われても少々理解しにくいのでもう少し詳細に説明をお願いします。

農林商工部会 マニュアル冊子を39,800部を218万9千円で制作し、金額的にその分が非常に大きかったのでその分だけを記載しておりましたが、ヌートリアの捕獲檻というのも20基購入しています。

なお、この鳥獣害での共同捕獲活動ということで3市町で一緒に回ることでできないかと考えていたのですが、実際はなかなか困難で、共同捕獲の特別期間というものを設けて、同じ時期に3市町それぞれの猟友会の方々に回っていただくという対応になりました。そういった形で一定の成果は上がっているということです。

田端委員 これを見た時に、タイミングのよい対策だなと感心していたのですが、3市町の猟友会さんに頼んで、実際に鹿やイノシシなどどれくらい捕獲できたのですか。そして本当に効果はあったのでしょうか。

農林商工部会 兵庫県、岡山県の両県ともイノシシや鹿の被害につきましては大変なものがあります。兵庫県もそれぞれの県が力を入れて捕獲をしているので、圏域がらみでも何か協力し合える所があるのではないかとということで、今申し上げたように特別狩猟期間というものを設けて時期的なものを揃えていくという捕獲をいたしました。ですので、それぞれが色々な補助金等を県単位で出させていただいて活動しているところです。

田端委員 それでは、事業費の236万円は冊子を作っただけの経費になるのですか。

農林商工部会 39,800部で218万円ですので1部あたり55円ですが、この冊子を3市町の広報の中に入れて全戸配布し、啓発を行いました。まず1番心配なのがア

ライグマ等の被害が出ているので怪我をされるお子さんもいらっしゃることから、まず徹底した啓発が必要という点から実施したものです。

豆田会長 残りの金額では何を購入しましたか。

農林商工部会 残りの金額でヌートリア用の捕獲檻を20基購入しております。

田端委員 冊子を配布するというのはいいことですし、それも大切ですが、同じするならば県からの補助金も出ている上に、この定住自立圏の予算を使って団体への補助や捕獲の補助なりを考えていく方が、より効果的な鳥獣対策になるのではないかなと思うのですが、そのあたりの考えはどうか。

農林商工部会 兵庫県、岡山県で仕組みの中で違いはあると思いますが、今言われたように、なんらかのプラスアルファを検討していきたいと思います。

豆田会長 他にないようですので、次の「4その他」に入りたいと思います。  
(1)「東備西播定住自立圏共生ビジョンの平成25年度見直し案」について、であります。  
事務局、説明をしてください。

事務局 それでは、東備西播定住自立圏共生ビジョンの平成25年度見直し案について説明させていただきます。この件につきましては、本年度上半期の事業進捗状況と関連がありますので、まず東備西播定住自立圏形成推進協議会部会報告書24年度実施状況から説明をいたします。

1ページ、地域医療の連携のうち、医療連携研究会事業として、9月と10月に臨床心理士を講師として招き、「人間関係でのストレスに対応するためのメンタルヘルス」研修を実施いたしました。この研修は、引き続き実施する予定です。

2ページ、医療情報研究会事業として7月7日に、城西大学の伊関教授を招き、「地域医療 再生への処方箋」をテーマとして、地域医療の現状と課題についての講演会を実施いたしました。

3ページ、生涯学習の推進のうち、巡回展開催事業は、開催する施設として、備前市は埋蔵文化財管理センター、赤穂市は有年考古館、上郡町は郷土資料館を決定し、9月7日からは有年考古館、9月28日からは郷土資料館、10月17日からは埋蔵文化財管理センターで事業を行っています。

4ページ、指定文化財・文化施設等巡りツアー事業は、10月6日に開催し、参加者は33名でした。

チャレンジデー開催事業は、5月31日に実施し3市町合わせて約56,000人の参加がありました。

5ページ、図書館相互利用推進事業は、平成23年4月より相互利用を開始し、9月末現在の状況を掲載させていただいております。

文化・スポーツ交流事業は、9月にスポーツ推進委員情報交換会を開催、今後12月16日に上郡町B&Gで交流会を開催する予定です。

6ページ、文化・スポーツ施設相互利用促進事業は、3市町の住民が同じ条件で利用できるよう関係条例等を平成23年4月1日から改正し、広域利用対象施設を掲載しております。

7ページ、赤穂市文化会館整備事業は、赤穂市の負担により大ホール舞台改修工事、冷温水器改修工事を行い、今後小ホールの音響設備改修を行います。

8ページ、学校給食の広域連携として、上郡町学校給食施設整備事業は、上郡

町が負担し、平成24年1月に建築工事設計監理業務委託契約を締結、2月以降設計に関する技術的相談、協議を上郡町が行っています。

9ページ、地産地消の推進及び地域ブランドの発掘のうち、地域ブランド発掘事業は、8月に農商工連携セミナー（個別ヒアリング）を実施し、11月には全体セミナーを開催する予定です。

11ページ、鳥獣害防止総合対策として、有害鳥獣対策事業は9月にヌートリア捕獲用わなの共同購入、また獣害防止啓発用DVDの購入を予定しています。

12ページ、企業誘致の推進として、企業誘致促進事業は10月3日から5日に、インテックス大阪におきまして「第15回関西機械要素技術展」に出展しました。

13ページ、観光振興の推進として、観光振興推進事業は平成23年に作成しました観光情報誌「るるぶ」の地域版を、近畿・中国・四国のJTB支店や提携施設217箇所4,000部を配布しました。

14ページ、地域公共交通ネットワークの構築のうち、圏域運行バス調査・検証事業は、平成24年2月27日に上郡ルート、3月5日に備前ルートの運行が開始され、9月までの運行実績は、一覧表に記載のとおりです。

市町域を超える1便あたりの利用者数は上郡ルートが4.8人、備前ルートが2.8人、総括で3.8人、1日あたりの利用者数は上郡ルートが19.4人、備前ルートが11.2人、総括で30.2人で、いずれも運行基準であります市町域を越える利用者は1便当たり1人超、かつ、1日当たりのバス利用者は16人以上を上回っています。

15ページ、JR利便性向上事業は、平成24年度要望につきましては、兵庫・岡山両県境隣接市町村振興協議会と共同で実施する予定です。

16ページ、地域情報ネットワークシステムの構築のうち、地域情報活性化事業は、地域SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を運用しており、現在、地域コミュニティの活性化として圏域ホームページも兼ねた地域ポータルサイトを構築することにより検討いたしております。

17ページ、圏域ホームページ作成事業は、引き続き、圏域ホームページによって協議会の情報を発信していくとともに、11月の圏域ポータルサイトの開設に向けて準備を行っています。

18ページ、住民交流のうち、民間イベント等助成事業は、平成24年4月22日に公開審査を行い、昨年より5団体多い掲記の13団体の助成を決定しています。事業の一覧は19ページのとおりです。

20ページ、赤穂国際音楽祭開催助成事業は、10月5日に定住自立圏枠を設けて席を確保し、チケットの購入者についてはそれぞれ送迎バスを運行いたしました。

21ページ、移住の促進として、定住相談会開催等事業は、関東会場として9月17日「ふるさと回帰フェア2012東京」に参加しました。また、大阪会場として9月29日に「ふるさと回帰フェア2012大阪」に参加しました。

22ページ、圏域内の職員等の交流については、職員研修事業は9月末時点で未実施で、23ページ、職員研修参加交流事業は、10月3日に赤穂市で公務員倫理研修を開催いたしました。

人事労務担当職員研究会（交流）事業は、10月17日に上郡町で人事労務担当職員による研究会を実施しました。

24ページ、専門家招へい事業は、8月31日に「協働による地域づくり特別講演会」と題して総務省自治財政局長椎川忍氏をはじめとする4人の講演会を実施いたしました。

職員交流派遣事業は、11月に備前市で開催されるB級グルメの祭典に職員の

派遣を予定いたしております。

続きまして、事業実施および協議状況を踏まえまして、来年度に向けた共生ビジョンの見直し案を説明いたします。

お手元の議案書の5ページ「東備西播定住自立圏共生ビジョンの平成25年度見直し案」をご覧ください。

まず、新規事業として、生活機能の強化に係る政策分野、医療の分野の地域医療の連携ということで、圏域住民診療支援事業についてであります。

事業内容は、備前市民及び上郡町民が、圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民が負担する額と同額にするというものであります。備前市、上郡町では、現在出産できる施設がないことから赤穂市民病院を含め市町外の施設での出産をせざるを得ない状況となっております。さらに赤穂市民病院では、赤穂市民と市外の人の助産料に格差があるため、圏域外の施設での出産を望む人が多いのが現状であります。圏域内住民の助産料を同一化することにより、妊婦の負担を軽減し、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する効果を見込んでいます。

6ページ、次も新規事業で、教育の生涯学習の推進に関する事業として中学校吹奏楽部交流助成事業です。

事業内容は、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体「3Mプロジェクト」が、3市町の教育委員会と連携して実施する3市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して助成するものです。圏域の中学校吹奏楽部の交流の場を確保し、住民交流を促進するとともに、世界的演奏家の指導等により音楽技術の向上を図ることを効果として見込んでいます。

次も新規事業として、教育の生涯学習の推進に関する事業としてトップアスリート等招聘事業です。

事業内容は、国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客が参加するイベントを実施するなど魅力あるイベントを3市町で開催します。高いレベルのパフォーマンスにより、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツの視野を広げ、競技レベルを向上させるとともに、事業実施に当たって、関連する競技団体やスポーツ団体と連携し住民相互の交流が図られる効果を見込んでいます。

7ページ、次も新規事業として、教育の生涯学習の推進に関する事業で、備前市生涯学習施設整備事業です。

事業内容は、備前市市民センター及び日生市民会館は「図書館相互利用推進事業」の拠点施設となる図書館を含む複合施設で、どちらも昭和50年代に整備されたものであるため、経年劣化による改修の必要があるため施設設備等の整備を行うものです。図書館相互利用推進事業の推進、圏域内の生涯学習機会の充実、文化振興及び住民交流の促進効果を見込んでいます。

8ページ、次は変更として、同じく教育の生涯学習の推進に関する事業の文化・スポーツ推進事業の中の「体育指導員」という文言が、スポーツ基本法の施行により平成23年8月24日から「スポーツ推進委員」へと名称が変更となったことにより文言修正をするとともに、市民参加による事業内容の充実を図っていききたいとしています。

9ページ、次は新規事業として、結びつきやネットワークの強化に係る政策分野、地域内外の住民との交流・移住促進、住民交流の事業で、こどもと学生のふれあい活動支援事業です。

事業内容は、関西福祉大学の学生がボランティアで実施している宿題教室等の活動に対する支援で、圏域内の子どもたちの学力向上や、世代間で交流すること

により子どもたちの豊かな心を育むことを目的としています。

以上、共生ビジョンの見直しは、新規として5件、変更として1件の合わせて6件であります。

他の事業につきましては、現時点では引き続き現ビジョンに記載された内容により事業実施に全力を尽くしたいというのが各部会の考えであります。

なお、事業費については、今後の予算要求、査定等を経て決定していくこととしています。

また新たな分野につきましても、引き続き検討・協議することとしています。

豆田会長

事務局の説明は終わりました。

本年度の事業実施内容、及び共生ビジョンの変更案について、何か質問等ありますか。

工藤副会長

まず、お礼とご要望を申し上げたいと思います。

新規事業の生活機能の強化で医療の充実、圏域住民診療支援事業について非常に感謝しております。東備西播定住自立圏の共生ビジョンを充実させるためには、やはり医療の充実が最重要課題の一つかと思っています。その中で、先ほどご説明がありましたように、新しい見直し案につきましては、圏域、備前市さんと上郡町、それから赤穂市さんの助産料について赤穂市民と同額になるということは非常に有難く、またこれが地域の魅力の向上、活力ある地域づくりや交流に繋がるものだと信じています。

それで、もう一つは今後、これに続きまして個室使用料についてもご尽力ご検討いただければ有難いと思っています。上郡町でも赤穂市民病院さんにお世話になっている住民の方はたくさんおられて、個室を使う理由は別に贅沢ではなくて、いびきがうるさいので大部屋の人に気を遣うとか、負担は大変だけれども個室をお願いするという理由や、仕事上、偉い方もたくさん来られるので大部屋の方に迷惑をかけるので個室を使わせてもらおうという声もあります。

何が言いたいかと申しますと、これらも医療と考えていただいて、できるだけ格差がないようにしていただければと、勝手な事を申しますが、財政的なものもありまして赤穂市さんを苦しめることは考えておりませんが、このように医療の充実を広げていくことで東備西播定住自立圏がますます住民に近いものになっていくものと信じていますので、今後ご検討をよろしくお願いします。

瓢委員

20ページ、上半期の実施状況の国際音楽祭の開催についてですが、昨年度は結果として39人に90万円の補助金を使われたということで、今年はこの定住自立圏の枠で200席を用意、昨年と同じだと思うのですがこれがどのようになっているのか、またバスの運行をどう判断しているのか、これからも同じような形でやっていくのかをお伺いしたいと思います。

事務局

音楽祭につきましては、定住自立圏枠として23年度200席に対して39人のお申し込みをいただきました。24年度につきましても同じく200席を確保して102人がご応募いただきました。確実に、備前市や上郡町で音楽祭のことが広まっているものと思っており、この形で継続できればと考えています。

金額につきましては、ご用意した200席をもとに全体の経費との兼ね合いで昨年度は90万円、今年度は80万円の予算となっていますが、決算につきましてはまだできておりませんので、そのあたりのことも考えながら決定していきたいと思っています。

瓢委員 分かりました。それから、議長が言われましたヌートリアの件ですが、20基購入されて、管理や使用は定住自立圏ではなく各市町に振り分けて各市町が自由に使用しているのでしょうか。

農林商工部会 ヌートリアの檻の20基につきましては、3市町の役所におき、そこからご要望があったところに貸し出しをしています。

瓢委員 次に、上郡町長のご要望の件で市民病院の個室の差額料金についてですが、今の赤穂市民病院がこれまでにやるにはやはり市税の投資があったからだと思います。このことを考えますと、「協議会で決めたから」ということでは赤穂市民の理解はなかなか得にくいものがあるのではないかと思います。これまで何回か提案をされていますが、事務局としても色々な検討はされたこととは思いますし、赤穂市民としてすり寄せるには条例等の整備がいるかと思えます。それをどのように考えておられるのか。それから、立場上まわりの方に気を遣うということでは赤穂市民も同じことだと思います。赤穂市民でも4人部屋に入っておられる方はたくさんいると思いますし、このあたりのことを上郡町長さんもお立場を考えられたうえでお話になっていると思いますので、事務局としても正式なご回答をしていただきたいと思えます。

豆田会長 少し勘違いがあるのかもしれませんが、この事業は市が負担するというものではありません。協議会が、協議会のお金を使って実施するということですので、赤穂市が直接負担をしないという中でどう考えていくかということについては、今のご質問についてのお答えは控えさせていただきたいと思えます。

瓢委員 赤穂市民として、市民と市外の人が同じ料金になるというのは結果として一緒ではないですか。

豆田会長 結局は誰が負担するかということになりますので、それはこの場で議論することではないです。疑問があれば後ほど私のところへ来ていただきたいと思えます。

他に質問等はございますか。

ないようですので、本日のご意見を踏まえ、ビジョン変更案を作成するということで、よろしいですか。

(異議なし)

それではそのように決めます。

次に(2)「その他」ですが、事務局から何かありますか。

事務局 本日のご意見を踏まえ、11月に開催予定であります共生ビジョン懇談会での協議、及び総務省協議を経まして、ビジョンの見直しを行っていきたくと考えています。

ただし、来年度の事業費につきましては、各部会での予算積算、予算査定の必要がありますので、事業費の見直しまで含めた平成25年度版共生ビジョンの策定は年明けになる予定です。

策定でき次第、協議会を開催し、ご説明したいと思えます。

従いまして、次回協議会日程につきましては、別途調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。事務局からは以上です。

